



あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

05.07 NO-06

学年や学級を越えた学びの充実

本年度の学校教育目標「目標をもち、考え、行動するたくましい子どもの育成」の達成に向け、本校ではいくつかの重点取組事項を設定しています。その一つとして、「学年や学級を越えた学びの充実」を掲げています。

【6年生が1年生をサポートする取組】

始業前の10分間、6年生が交代で1年生の教室を訪れています。1年生が「学校って楽しいな」「上宇部小学校が好きだな」と感じられるよう、さまざまな活動を企画し、実施しています(下写真)。



この取組は、6年生がチームにわかれ、「総合的な学習の時間」等をつかって計画したものです。「なぜこの取組を行うのか」という問いを大切にし、目的を明確にした上で、その達成に向けた具体的な方法について、子どもたち自身が主体的に考え、実践しています。話し合う姿(下写真)は、「さすが6年生」です!

本校では、子どもたちに身に付けさせたい力として、「気付く力・つながる力・解決していく力」を掲げています。この取組は、そうした力を子どもたちが存分に発揮できる、まさに学びの時間と空間となっています。



話し合っている児童に、「取組をやってみての手ごたえはどうですか?」と尋ねると、「とてもあります!」「次回も楽しいものにします。」と、笑顔で即答しました。

学年や学級の枠を越えての関わり合いは、子ども一人ひとりが、相手の立場に気付き、思いをつなぎながら課題を解決していく力を育む貴重な機会です。こうした取組を充実させていくことが、子どもたちに「生きる力」を育むことへとつながっていくのだと思います。